

# THE リアルタイム

発行者 サポートセンター連 広報担当 横浜市旭区柏町 59-2 Tel 045-360-9778 Fax 045-360-7004

社会福祉法人 訪問の家 ホームページ <http://www.houmon-no-ie.or.jp/>

旭区地域自立支援協議会 ホームページ <http://asahiku-net.com/>

## 【主な予定】

●連・GALLERY (作品展) **中止**

●子育て相談：毎週木曜日

9月から再開予定です！

※開催時間変更⇒10時～11時(1h)

人数制限あり。詳しくはお問い合わせください。

●第13回 連ふれあいまつり **中止**

※上記日程は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が発令された場合など、開催が延期、または中止となる可能性があります。参加やご来館を予定されている場合は是非、お問い合わせの上お越しください様お願い申し上げます。

また、連にお越し下さる時は…マスク着用、手指の消毒、検温にご協力をお願い致します。

## 【ボランティアさん募集】

サポートセンター連では、日中活動を中心にボランティアさんを募集しています。ボランティアに興味をお持ちの方は、ぜひ下記までご連絡ください。問合せ先：360-9778 担当：成田

## ～編集後記～

長い梅雨も明けやっと夏本番となりましたが、空の青さのようなスカッとした気分になかなかないこの頃です。

最近、テレビでよくドラマを再放送していますが、数年前に放送された「わるてんか」という朝ドラを思い出しました。そのドラマで印象的だったのが、「辛い時こそ笑顔で乗り切る」というセリフでした。

自粛生活を継続する中で、以前のように自由に外出できず、我慢することが増えて笑顔が減りがちになっています。夏を満喫しきれないモヤモヤ感もありつつですが、そんな気分も吹き飛ばせるように「辛い時こそ笑顔で乗り切る」を心がけて実践していきたいと思っています。

ご飯を食べて「美味しいね」と笑顔になったり、散歩をして「お花がきれいだね」と共感したり、些細な事からでも利用者さんと一緒に楽しみ笑顔を重ねていき、「笑顔の力」で塞ぎがちな気分も青空のように晴れやかに変えていきたいですね。

(広報委員 工藤)

工房2 板宮です。皆さんいかがお過ごしですか？梅雨が終わり本格的に夏がやってきましたね。以前、訪問の家のブログで紹介させていただいたヒメリンゴですが、7月に測定したところ、152cmになっていました。昨年の8月に測定したときには130cmだったのでこの1年で驚異的な成長を見せてくれています。今後に期待が膨らみます。



タカサゴユリも一緒に成長しています



こんなに大きくなりました

## 地域交流からのお知らせ

地域交流室・おもちゃ文庫のご利用が  
7月6日から再開しています

### <地域交流室>

ご利用時間：10時～11:30/13:30～15時/15時～17時  
人数制限：10名様まで(事前のお申し込みが必要です)

### <おもちゃ文庫>

ご利用時間：10時～12時/13時～15時  
人数制限：3組の親子さん(お申込みご予約は不要です)

上記以外にも感染症対策として、新しいルールがございますので、お気軽にお問い合わせください。☎360-9778/担当 禾木(カツキ)

9月からは「子育て相談」も  
再開の予定となっています

まず、連へお越し下さる時は…

マスク着用のご協力をお願いします

手指消毒のご協力をお願いします

検温のご協力をお願いします

皆さまのご協力をお願いいたします。



ふれあいまつり中止のお知らせ

毎年、九月の第二土曜日開催している「連・ふれあいまつり」は新型コロナウイルス感染拡大の為、自粛により今年度は開催中止とさせていただきます。

「地域の皆様へ感謝の気持ちを形にしよう」を毎回大きなスローガンに掲げ、開催して参りましたこのふれあいまつりも、今回で十三回目となる予定でした。

三密に気を付け、マスク着用や消毒など日々の暮らし方も、ガラッと変わってしまったのは、皆様におかれましても同様の事と存じますが、連で一番大きなイベント。職員と利用者さんが一緒に、大勢の地域の皆さまと交流ができるイベントなので、中止は残念でしたがありません。

しかし、がっかりばかりしてはいただけません。何か他に地域の皆さまへの感謝の気持ちを形にできる方法はないものかと、今年のふれあいまつり実行委員会を中心に、皆で考える日々です。必ず実現できる様に皆で試行錯誤しています。

そして連では嬉しい出来事もあったりします。私どもの法人で仲良くさせて頂いている「株式会社ファンケル」のお誘いで、連で製造販売しているクッキーが、なんと東京の銀座で販売して頂ける事になりました。

詳しくはまた、このリアルタイムにてご報告させて頂きたいと思っておりますので、今回は予告のみとさせて頂きます(笑)

ふれあいまつりは中止となってしまいましたが、連は皆元気に活動しています。日々、感謝の気持ちを忘れずに…をスローガンに。

(小原)



## コロナ禍で感じた“つながり”という宝

玄次（げんじ）さんは、作業活動の合間の昼休みになると、さっそうと車いすを自分で漕ぎながら1階の事務所にやって来て、「あ あ～！」と威勢のいい声と笑顔で私たちに愛嬌を振りまいてくれます。そして、地域交流室を利用される地域の方がいらっしゃると、率先して玄関に行き出迎えてくれます。

玄次さんには知的障害があり、言葉こそ発するのは難しいのですが、持ち前の声と表情で、「いらっしゃいませ！」という思いが十分伝わっているようで、来館された地域の方も、「ありがとう！」「来たわよ！」と言っていただけ・・・そんな日常があたりまえでした。

ところが新型コロナウイルスの感染拡大により、横浜市からの通達に基づき、今年3月から地域交流室とおもちゃ文庫を閉じることとなり、連の建物には地域の方が一切入れないという日常が続きました。

おそらく玄次さんにとっても、玄関先でポツンと一人でいることもあり、物足りない昼休みを過ごしていたのかと思います。

今回のコロナ禍で、連の建物に、地域の方が訪れていた日常が“あたりまえ”ではない日常に一変しました。障害の方と地域の方が自然に挨拶を交わしていたり、いつの間にか顔見知りになったり、また、おもちゃ文庫を利用されている小さい子が楽しそうに遊んでいたり、こんがり工房でパンを食べていたり・・・いろんな人が“あたりまえ”に出会える日常に、いつになったら戻れるのか！そんなもどかしい思いを持ちながら過ごしていました。

そして、緊急事態宣言が解除された翌月、横浜市からの通達が解除され、7月6日より約4か月間閉じていた地域交流室とおもちゃ文庫を、感染防止対策を整備することで再開することができました。「やっと来られたわ！」「おもちゃ文庫が開いていると助かる！」と嬉しそうに言っていただける方もいて、この場所が地域にとって“必要な場所”と言っていただけで胸が熱くなる思いでした。

新型コロナウイルスの怖いところは、人体の免疫細胞の破壊だけではなく、今まで経験したことのない社会活動の制限下で、人間関係が壊されていくことにもなり兼ねない・・・という脅威があります。人と人とのつながりが壊されないようにどうすればいいのか、私たちは障害のある方たちとの関りを通じて真剣に考えなければいけません。

さて解除後、久しぶりに地域交流室を利用するために来館された方（馴染みの地域の方）を得意顔で「あ あ～」と言いながらエレベーターまで案内する玄次さんに対して、「あら密だからあんまり近づいちゃダメよ！」と地域の方との微笑ましいやり取りが見られるようになり「こういう姿が大事だよな！」とあらためてその尊さを感じさせてもらいました。新型コロナウイルスをめぐる事態は今後さらに変化していくものと思われませんが「この状況では仕方がない」「もうダメだ！」と諦めてしまうのではなく、“つながり”を切らないようにするための工夫と努力を続けていきたいと思っています。

白鳥



## 新しい自主製品のご紹介

今回はビーズを使った「メガネストラップ」と「マスク留め」をご紹介します！

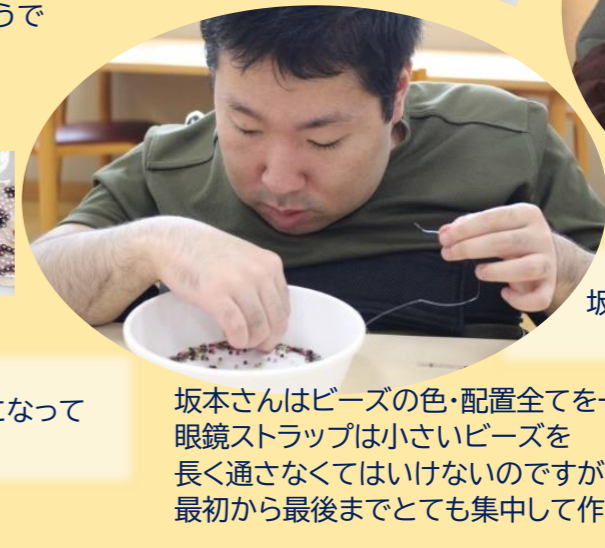
今回、新商品を作ることになったきっかけは地域の方でした。連のプレスレットを見た地域の方から「眼鏡ホルダーはできますか？」とのご注文があった事がきっかけなんです。

マスク留めは、コロナの影響？  
マスク着用が当たり前の世の中…他にも普段使いが出来るビーズ製品はないかな？と思い作ってみました！

今井さんは、マスク留めを作り始めてからは様々なビーズの形に挑戦しています。ビーズの色も形も自分で選び、ピンク系や青系など様々な作品が出来ています。最近では慣れたようで一回の活動時間で、一本作り上げています。



マスク留めは今井さんが中心になって作っています。



坂さんはビーズの色・配置全てを一人で考えて作っていて眼鏡ストラップは小さいビーズを長く通さなくてはいけないのですが最初から最後までとても集中して作っています。



モデル：佐藤篤

眼鏡ストラップは坂さん中心になって作っています。

堤さんからバトンを受け取りました  
相談支援事業の 佐藤です。

# good job!

私がこの職業に就くきっかけとなったのは通っていた小学校の隣にあった養護学校の生徒とのふれあいでした。一緒に過ごす機会も多く、障害のある方の暮らしを支えたいという大きな夢を持つことが出来ました。

入職から15年（歳がばれちゃいますね）相談支援はとても奥深い仕事だと感じています。ご本人の想いを大切にしながら得意なことや苦手なことをしっかりと見極め、ご本人にとって必要な支援を行っていくことが大切だと思っています。また、生活の上での悩みについて一緒に考え解決した時は喜びを分かち合う。そうした関わりを通してご本人の変化を感じたり支援から人生について学ぶことが出来たりするのも醍醐味です。

これからも障害のある方の気持ちに寄り添うことを大切に、ひたむきに頑張っていきたいと思っています。

そして私の元気の源は趣味の【韓流】です！！韓国料理を食べながら友人とおしゃべりを楽しんだり、好きな俳優さんのイベントに行ったりすることが楽しみとなっています。仕事を頑張る上で趣味の時間は欠かせません。

今回は…連の日中活動で働く仲宗根さんにバトンを渡したいと思います！

